

10/9(土)まいど! 倫理号です。今日の倫理 私も経験ありです。  
お陰で今があると思っております

幸せ運ぶアホ一息

2021. 10. 9 ~ 10. 15

今週の

倫理

10月のテーマ | 決断をする

1250号

私たちの生活は決断の連続です。朝、目が覚めて、起きるか、もう少し布団で寝てしまおうか。昼ごはんは蕎麦にするか、牛丼にするか。用事が済んだらすぐ家に帰るか、寄り道をするか。

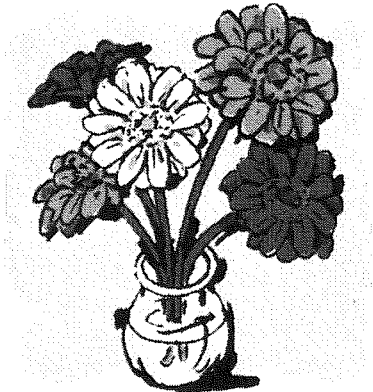
特別、意識をしない小さなことから、自分だけでなく周囲の人の人生にまで影響を及ぼすような大きな事柄まで、生きていく上で決断から離れることができません。

特に企業のトップである経営者は、責任が及ぶ範囲は広く、大きな決断ほど、熟考するものです。打開策を求めて、自分を俯瞰したり、先輩や専門家にアドバイスを受けても、どうしても迷路から抜け出せない時もあるでしょう。その打開策の一つに、一旦仕事から離れ、配偶者の言葉をそのまま受けてみるがあります。

一瞬の判断がその後を左右する勝負の世界に二十七年間も身をおき、二〇一九年に現役を引退した元プロ野球選手のイチロー氏。十年連続で二百本安打達成など数々の輝かしい功績を打ち立てましたが、その道は決して平坦ではありませんでした。

氏は「過去の自分を超える」ことを自身の流儀とし、常に安定したパフォーマンスと、技術の向上を目指して自分自身にプレッシャーをかけ続けてきました。それ故に不調に陥ることもあり、自身がノルマとして掲げる「二百本」を目前にすると安打のペースが落ちていたと言います。

二〇〇七年、氏がメジャーに移籍して以来達成してきた二百本安打を、七年連続で



## いざという時の妻の一声

目指すシーズン中の出来事です。いつものようにプロとしての重圧と対峙し、思い悩むイチロー氏にとつて光明となつたのが、妻の一言でした。「ホームベースから少し離れて立って見たら、景色が変わるんじゃない？」とのアドバイス。氏は素直に受け入れます。靴一足分離れて立つと、毎年の不調も体験することなく、オールスターゲームでは日本人初のMVPを受賞するなど、大活躍の年となりました。

また、建設関係の事業を営むAさんは、父親から事業を継承した後、数年後に経営不振に陥り、会社の存続が危ぶまれる状態になりました。当時は自ら命を絶ち、生命保険で、銀行への毎月の返済に当てられないかと、真剣に悩んだと言います。

その時、脳裏に浮かんだのは、家族の顔でした。事業の現状を妻に話すと、「見栄を張らずに、返済計画の見直しを銀行にお願いしてみたら。きちんと話せば大丈夫だと思おうよ」との言葉が返ってきました。

その言葉通り、銀行に行き、現状を包み隠さず報告すると、返済のペースを落とすてもらえただけでなく、追加で融資を受けられ、事業を立て直す資金まで調達することができたのでした。

自分自身の本来の姿をよく知っている配偶者だからこそ、その言葉を天の声として受け入れることで、二人の道は開けたと言えるでしょう。そのためにも、正直に話し合える関係を日頃から作っていくことが、いざという時、決断力の礎になるのです。